

三美しき空間三
ちゅうらどうくま



第25回全国高等学校総合文化祭写真展

優秀賞 「咲け！」

北山高校三年 上野加鈴

審査員講評

三人のハンサムな野球部の選手がユーモラスなポーズでジャンプしているところを高速シャッターで時間を止めています。まさしく写真だけにしか表現出来ない世界です。モデルと撮影者との気の置けない関係みたいなものも伝わって、見る者も思わず微笑んでしまいます。プリントについては技術的な問題が残っていますが、作者の発想の豊かさや絵作りのセンスの良さが、それをうまくカバーしてくれました。

※関連記事3ページ



今帰仁村

ななきじん
広報
Nakijin
毎月1日発行

- 今帰仁村民憲章
- 一、みんなで守ろう 恵まれた自然と文化遺産を
 - 一、みんなで作ろう うるおいとやすらぎのある村を
 - 一、みんなで育てよう のびゆく力と豊かな心
 - 一、みんなでめざそう 健康で希望に満ちた村を
 - 一、みんなで築こう 平和で明るい活力のある村を

2001年10月
311号

世界遺産登録認定書伝達式 関係七市町村・二団体に贈られる



▲稲嶺県知事から仲里村長に認定書(複製)が手渡される

月にユネスコ本部から文化庁に授与された。

この日は、日本ユネスコ協会によって複製された認定書が世界遺産関連七市町村と国営沖縄記念公園事務所、県ユネスコ協会の九カ所の代表に稲嶺県知事から贈られたもので、伝達式に出席した日本

世界遺産に登録された「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の世界遺産認定書の伝達式が九月十九日、県庁講堂で行われた。

今帰仁城跡や首里城跡、識名園など「琉球王国のグスク及び関連遺産群」は昨年十二月ユネスコの世界遺産委員会で正式に世界遺産への登録が決まり、登録認定書は今年七

ユネスコ協会の岡田茂事務局長は「琉球王国のグスク群は人類共通の遺産となった。これからの世界遺産は文化遺産に代わって無形遺産に移っていくだろう」と述べた。また、認定書を受けた市町村を代



▲認定書には「顕著で普遍的な価値を有する文化遺産として認定する」と記されている

表してあいさつに立った翁長那覇市長は「琉球王国のグスクや御嶽は祈りの場であり、心の安らぎの場でもある。そのような世界遺産を皆で大切に守り伝えていきたい」と話し、仲里吉徳今帰仁村長も「世界の共有財産として今後整備を進め、先人たちが守り築き上げてきた貴重な文化遺産である「今帰仁城跡」を多くの人に見てもらいたい」と語った。本村では認定書を近く歴史文化センターで公開し、多くの方に見てもらおう予定です。

「村花—ハイビスカスで村おこし」と題し、九月七日、村商工会館にて村づくり講演会が開催され、会場には、村内外から多くの聴講者が詰めかけた。国内のハイビスカス研究の

村づくり講演会

ハイビスカスでむらおこし

～ハイビスカスの第一人者 立花氏招いて講演～



▲新しい発想でむらおこしを考えようと多くの参加者が詰めかけた

第一人者として知られる立花吉茂氏(花園大教授)をお招きしての講演は現在、世界に園芸種だけでも二百種類以上もあるといわれている「ハイビスカス」をテーマにいろいろな花を咲かせて人を呼ぶ「観光」とたくさんの種類の苗木販売による「経済」の両面から村おこしの可能性について述べられた。立花氏によると「ハイビスカスは年間平均して23℃前後の地域であれば、年中花を咲かせる。ここ今帰仁は栽培に適しており、より簡単・確実に大量の苗を増殖するために「ミスト施設(空気に水分を与える施設)」の設置が必要」と話した。また、ハイビスカスを使った村おこしを、実験的に導入し、失敗に終わった他の村のエピソードも交えながら「本気でハイビスカスを使った村おこしを考えるのであれば、施設整備はもちろん、栽培に関する高い知識と技術を備えた意欲のある若い技術者の養成が必要」と結んだ。

第十九回 今帰仁村青少年の主張大会

人は誰でも幸せでありたいと思っ
てはいるはずですが、たとえ物質的に恵まれていなくても周りの人間関係が豊かであればきつとそこで幸せを見つ
けることができると思います。その幸せは、周りの人への愛から成り立っているとい
うこと、周りの人からの愛によって支えられていると私は考えています。

が絶たれたという事実がわかりました。そのうち八名が見
童相談所が指導に乗り出していたにも関わらず救うことが
できなかったそうです。虐待による死亡件数は年々減つて
きているといひます。虐待について調べてみたところ、三
歳から五歳までの幼児が実母
によって虐待されているケー
スが最も多いことがわかりま

思いやりの心が欠けて
いるといわれている現代。いつの頃からでし
うか。人との関係の中で
心の交流が薄れ、表面的
な付き合いをしている他
人の様にそこには「絆」とい
う言葉は存在しないような気
さえます。そんな世間の現
実を反映しているとも言われ
る「虐待」という言葉が大き
くとりあげられました。特に
児童虐待についてはこれまで
ニュースに挙げられたものは
数知れません。

優 秀 賞



幸 せ
— 愛するということ —

北山高校二年
岸 本 江 利 香

一九九八年度の調べで虐待
によって四十一人の子供の命

した。親、特に母親にとつて
三歳前後の子供は可愛いはず
ですが、ここでは、そうでは
なくなっているということな
のでしようか。期待が大きか
った分、思い通りにならない
というところから葛藤が始ま
るのでしよう。自分の心をう
まくコントロールできずに今
の状況にもがきつつ、おさえ
られぬいら立ちを攻撃に変え

る。その攻撃を「嫉」という
言葉にあてはめ、虐待と嫉の
合理化を図り、現実から逃避
しているのにすぎないといひ
考えられません。また、社会
が情報化し、変化のスピード
を増していく中で、その変化
についていけずに個人が孤立
し始めていることもその背景
にあるのではないかと思いま
す。辛くて怖い体験をする子
供をつくらないためにも、そ
の解決方法として法律も強制

的暴行のことをいひます。こ
れまで虐待でニュースにとり
あげられた数々の事件を見て
きて、私はいつも疑問に思
うことがあります。肉体的暴力
によって相手を屈服すること
のできる「強者」がなぜ責
任を自覚して「弱者」をか
ばい、支え、助けることがで
きなかったのだらうかとい
うことです。「泣き止まない
で憎たらしいと思つた」「自
分になつてくれないのでム

的に保護することが出来るよ
うに変える必要があると私は
思ひます。
「虐待、虐待…」と話して
きましたけどどんなものを児童
虐待といふのか皆さんは知
っていますか。虐待にも四つ
のタイプがあり、虐待とは親や
親にかわる養育者が子供に
対して行つた身体的暴力、養育
の拒否や放置、心理的虐待、性

かつて殴つた」など
といふ言葉に私はとても
大きな打撃を受けま
した。それと同時に、
激しく強い憤りを感じ
ました。当然のように
家族からの愛情を受けたか
たはずなのに、そのような甘
えさえも受け入れられずに死
んでいった子供達はもう戻
てはこないのです。この事実、
あまりにも悲しすぎると思
いませんか。

人達からの愛を一身に受けて
育つてきました。私もその人
達のことを愛しているし、私
にとつてかけがえのない大切
な人達です。その人達からの
愛がもしも途絶えてしまつた
時のことなど考えられませ
ん。私は今まで生きてきた十
七年間を本当に幸せだと思
つています。そしてこの幸せが
なくなることはないと思つて
ます。
虐待によって自分の子供を
なくしたのに、「子供がほし
かつたらまた産めばいい」と
いふことを言つた親がいま
した。この親が考えることが私
には全く理解できません。は
たしてそこに「愛」といふも
の存在したのでしょうか。
虐待を繰り返す親達はきつと
愛をあまり注がれずに育つた
のではないかと思つたのです。
その結果「愛する」といふこ
とを理解できず、虐待を繰り
返してしまうのではないかと
思ひます。もしも本当に愛す
るといふことを知つていれ
ば、自分の子供を傷つけるこ
となどなかつたはずで

の名残りをみる。かつてはハミグムイで山原船が停泊したとされ、低地帯には水田が広がるのどかな風景を創出したという。仲宗根の集落は神アサギやお宮が



仲宗根はナハジユニやナカジユニなどと呼称される。大正五年に運天から役所が移り、現在は店舗が並ぶマチとして発達する。南北に大井川が流れ炬港と呼ばれる広い河口があり、今も残るトウグムイ(唐小堀)、ハキンジョウウ(掛場)の地名に港

所在し集落の重要な祭祀施設が集中するグシクンチチの丘に抱かれるように南側の緩斜面に展開する。グスク地名を残すこの場所には、石積や人の営みを窺い知ることのできる遺物は採集されていないので詳しいことは分かっていないが、丘陵頂上か

らの眺望は広く北は大井川を脚下に、南は乙羽岳から緩やかに展開する山岳を望むことができ。大井川がつくる渓谷には、玉城にあるウチグスク、スムチナ御嶽とその裾野に展開する玉城城跡、天底のシイナグスクが連なるように所在している。各御嶽・グスクとの関係は不明だが港口にあたる仲宗根のグシクンチチが担ったであろう機能は重要であったに違いない。

(文化財係・宮城弘樹)



れなのに、このようなことを繰り返す親達を私はかわいそうな人間だと思えます。愛に見返りを求めてはいけません。が、相手から少しも愛が返ってこなくても、その自分

げればいいのです。とても難しいことかもしれません、本当に大切な人を愛することは決して愛が返ってこなくてもそれだけで十分幸せに思えるものです。虐待は子供の心と体に深い

傷跡を残し、時には生命を奪うこともあります。虐待されて育った子供は大人になった時に自分の子供を虐待するかもしれません。親を見て子は育つのだから、あふれるほどの愛で子供を包みこんでほし

いのです。日本中、いや世界中の子供達が愛に包まれた幸せの中で生きていくことが当たり前前の世の中であってほしい。心からそう思いますが。それを現実のものにさせるためにも、周りの人を信頼

し豊かな人間関係を築いていくこと。思いやりの心を忘れずに家族を愛するということ。全ての人に対して広くて温かい心で接してこうではありませんか。みんなが幸せでいられるように。

内閣総理大臣より
勲六等瑞寶章
贈られる
佐久川 忠英氏(謝名)



▲瑞寶章授賞に喜びをかみしめる佐久川氏

このほど、謝名にお住まいの佐久川忠英氏(88)が内閣総理大臣より高齢叙勲の勲六等瑞寶章が授与され、村役場において仲里吉徳村長から証書と勲章が伝達された。佐久川氏は、昭和四十三年から三期十二年間にわたり、村会議員として村政運営に携り、勇退後も活力ある地域づくりに向けた地道な活動が高く評価されたもの。受賞にあたり佐久川氏は、

「こんなに立派な賞をいただき光栄です。村会議員時代に村立今帰仁診療所の設立に関われたことが今でも誇りに思う」と感慨深げに喜びを語ると共に「これから、活力ある今帰仁を築き上げて行くのは若い世代の肩にかかっている、村長を先頭に村民が協力し合って住みよい村づくりを進めてほしい」と21世紀を担う若者らに対して激励の言葉を贈った。



フォト ニュース

むらの話題

広報なきじんに
情報をお寄せ下さい。

〒905-0492
今帰仁村役場「広報なきじん」

神々に豊漁豊作の祈り 伝統行事『ウンジヤミ』行方

古宇利区



▲西の方角に向いシラサ(浜)で儀式最後の祈りをささげる

旧盆明けの最初の亥の日にあたる九月九日にシマの繁栄と豊作、大漁を神々に祈る古宇利区の海神祭(ウンジヤミ)が同区の神アサギで行われた。

この日、昼過ぎから神アサギで始まった伝統の祭祀では、つる草で編んだ「ハーブイ」とよばれる冠を頭に被り、白装束をまとった九人のカミンチュ(神人)たちがヌミ(弓)と呼ばれる棒にくくりつけた唐船旗(トーンケージ)をなびかせ、御嶽前のアサギミヤーからシラサまでの四方

所を巡り神々に祈りをささげた。古くから古宇利島に伝わるこの儀式は古宇利島の人類発祥伝説にも記されている「天から降るモチ」をヌミで突いて落とす仕草も取り入れられ

ており、民俗学的にも貴重な祭祀をひと目見ようと島外からマスコミや研究者らのほか、たくさんのお見物客も訪れた。また、島の児童生徒達も地域の伝統行事を学ぼうとノートを片手にじつと祭祀を見守り、祈りを終えたカミンチュ(神人)に質問を投げかけていた。

その後、港では恒例のハーリー競漕も行われ、翌日にはシマ上げてのみちずねーや豊年祭も繰り広げられるなど、島外に住む多くの出身者も参加してふるさとの伝統行事を満喫した。



▲港では恒例のハーリー競漕にさかんな声援が送られた

はつらつとした笑顔広がる 長寿者招き余興楽しむ

村敬老会



▲500人余りの元気なお年寄りがつめかけた敬老会

七十五歳以上のお年寄りを招いて長寿を祝う、村主催の敬老会が九月二十一日、村コミュニティセンターで行われた。

この日会場には、はつらつとした笑顔を浮べた五百人余りのお年寄りがつめかけ、参加者一人ひとりに村から記念品が贈られた。

式典であいさつに立った仲里村長はこれまで社会に尽くされてこられた労をねぎらうとともに「身体を大切にされ、これからも生きがいをもって

長生きして下さい、いと激励その後、児童を代表して湧川小三年の神谷千夏さんが「私のおばあちゃん」と題して作文を朗読。「私の帰りをいつもやさしく迎えてくれる大好きなおばあちゃんに長生きしてほしいです。また、会場のおじいちゃんおばちゃんもいつまでも長生きして下さい」と読み上げると会場から大きな拍手が沸き上がった。

式典終了後は琉舞や民謡ショーで祝宴に花を添え、参加者らは楽しいひと時を過ごしていた。

今年の村在住の七十五歳以上の高齢者は千二百二十八人(男子二九六六、女子八三二人)「八月三十一日現在」で昨年同時期に比べて三十五人増えている。



Photo News

孫と一緒に遊具づくり おじいちゃんおばあちゃんと遊ぼう会

今帰仁保育所



▲孫とひざを交え遊具作りを楽しむ

具作りが行われ、子どもたちがお手伝いをしたり、じっくり眺めているうちにおじいちゃんやばあちゃんには、なれた手つきで見る見るうちに仕上げ、完成したおもちゃを手にはしやぎまわる子どもたちの声が園内に響いた。

また、日ごろや

いつもやさしくしてくれる、おじいちゃんやおばあちゃんを招いての「遊ぼう会」が九月十八日、今帰仁保育所で開かれた。

この日は、牛乳パックを利用した風車や色とりどりの画用紙を編みこんだランチョンマットなど大好きなおじいちゃんやおばあちゃんと一緒に遊ぼう会

さしくしてくれるおじいちゃん、おばあちゃんに感謝とお礼をこめて、ゆうぎやエイサーが披露されると、カメラを手にしたおじいちゃんも「ちゃんと踊れているとはいえないけど、一生懸命な姿がかわいいです」と孫の成長に目を細め、ほほもゆるみっぱなし。昼食にはおいしい特製ジュースも園から振舞われるなど、かわいい孫との楽しいひと時を過ごしていた。



▲力強く選手宣誓を行う立津政弥選手 (今帰仁 Jr)

「野球をとおして親子の絆を深めよう」と村親子野球大会が九月十五日、村営グラウンドで開催された。

子は楽しみ父さんは必死! 今帰仁ジュニアV2達成

村親子
野球大会

この日は村内から四チームが参加、開会式には子供たちとともにユニホーム姿で並ぶお父さんたちの姿も見られる中、試合が始まるとプレーを楽しむ子供たちとは対象的に、お父さん達は応援団からの冷やかしの声援に笑顔で応えながらも「自分のミスで負けるわけにはいかな

い」とばかりにプレーは真剣そのもの。普段見せない必死の形相が一層、観客席の笑いを誘っていた。
決勝戦は延長戦にもつれ込む接戦の末、今帰仁ジュニアが二対一で天底ドリームを退け二年連続で優勝を果たし、十月下旬に北谷町で開催される県大会への出場を決めた。

福もたらす七福神で観客魅了! 青年ふるさとエイサーまつりで披露

湧川青年会

県内の若者たちが練り広げる郷土芸能の祭典「第二十九回青年ふるさとエイサーまつり」が八月十八、十九の両日、奥武山運動公園で開催され、北部地域を代表し出演した湧川青年会の「七福神」が初日の舞台の最後を務めた。

ようと大勢の観客が詰め掛け、七人の神々の独特な舞が始まると会場内には三線や指笛が鳴り響いた。

紹介役を演じた比嘉均さんは「大勢の人の中での演技は緊張するが、やりがいもある」と話し、真剣な眼差しで見つめる観客の姿にシマの伝統芸能に対する誇りをより強くさせていた。



▲七人の神々が舞う伝統芸能「七福神」



村取入役
仲尾次吉澄



村議会議長
運天 政徹



アルゼンチンを訪問して上

今帰仁村議会議長 運天 政徹
今帰仁村収入役 仲尾次 吉澄

在亜沖縄県人連合会創立五十周年記念式典参加のため、八月十六日から二十五日の日程でアルゼンチンを訪問しました。九十年余も前に幾多の苦難を乗り越え、今帰仁から新天地のアルゼンチンを目指し移民した多くの方は、今も沖縄の伝統を守りながら元気に暮らしています。私達が訪れたアルゼンチンの様子を報告します。

沖縄を出発し、成田、ニューヨーク、サンパウロを経由して、目的地アルゼンチンへ。翌日の午前十一時過ぎ、三十時間余りの長い空の旅はアルゼンチンが近くて遠い国であることを改めて感じさせられました。



▲在亜村人会主催の歓迎式でそろって記念撮影

空港では在亜村人会長の山城弘美氏(仲宗根出身)をはじめ、顧問の古波蔵智氏(兼次出身)、上間隆氏(崎山出身)、諸喜田貢氏(兼次出身)の方々の温かい出迎えを受け、その日夕方には早速、諸喜田

貢、小夜子ご夫妻宅での歓迎夕食会に招待されました。時を忘れ、夜遅くまでシマクトゥバ(今帰仁方言)でのふろさと談義に花を咲かせました。

翌日は佐久川忠助氏(85)(謝名出身)を尋ね、今帰仁にお住まいの兄、忠英氏から託された手紙を手渡ししました。最近、愛妻の八重子さんを亡くされたにもかかわらず、私たちを温かく迎え入れて頂き胸を熱くしました。氏は以前、在亜県人会の会長も勤められるなど、部屋には勲六等瑞寶章をはじめとする数々の感謝状が飾られ当地の佐久川氏のご活躍が直に伝わってきました。

この日午後からは、県人会館にて「慶祝団歓迎レセプション」また、夕方からは、村へ

総合力で圧倒！兼次中



第6回国頭地区中学校

1,2年生バスケットボール大会

やったねV 今帰仁勢

アベック優勝

男子 湧川中学校

兼次中学校 女子

速さで高さ制する湧川中！



八月十七日から十九日の日程で開催された第六回国頭地区中学校1・2年生バスケットボール大会で湧川中学校(男子の部)と兼次中学校(女子の部)の今帰仁勢がそろって優勝を果たし、活躍した選手らとともに応援に駆けつけた父母らも歓喜に沸いた。

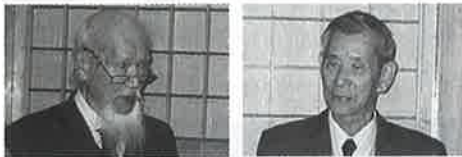
技術、スピード、持久力を兼ね備え、すべての試合で主導権を握るうまい試合運びを見せた両チームの戦いぶりは、大会関係者からも「最近の今帰仁勢の活躍は目覚しく、今後さらなる活躍を予想させる勢いがある」と言わしめるほど。また、女子の兼次中チームは一月前に行われた1年生大会でも他を寄せつけない圧倒的な強さで北部地区を制するなど、今後しばらくは今帰仁勢の試合に目が放せない状況が続きそうだ。



▲現地到着したその日に諸喜田氏(左)宅にての歓迎夕食会に招かれた



▲アルゼンチンで数々の功績を残されている佐久川忠助氏(中央)を訪れる



▲移民の歴史を語る上原清利美氏(左)と乾杯の御発声を頂いた田港朝寿氏(右)



▲慶祝団の歓迎パーティーでナキジンチュが勢ぞろい

人会主催の歓迎会が催され、アルゼンチン各地から多くのナキジンチュが参加しました。その中には首都、ブエノスアイレスから、遙か九百キロも離れた州から兼次出身の大城秀子さん(旧姓・諸喜田)をはじめ、その他上間節子さん、与那嶺広子さん(共に今泊出身)も遠くから駆けつけ、会場は再会の喜びで涙と笑いで包まれました。式では山城会長から歓迎のあいさつを頂き、続いて天底出身の田港朝寿氏(78)より乾杯の御発声、その後、私たちは、ふるさと今帰仁村の近況を伝えるとともに仲里吉徳今帰仁村長からのメッセージを読み上げ、金

一封を贈呈しました。また、本村が来年度から実施予定している「南米移住者子弟研修生」の受入れを伝えると会場に万来の拍手が沸き上がり、今後ますます互いの交流が深まるものと強く感じました。その後には上原清利美氏(91)から九十年余も前、二カ月前の船路でたどり着いた新天地アルゼンチンで移民者が歩んできた歴史を紹介し、最後に「言語、習慣の違いに戸惑いながらも、筆舌に尽し難い辛酸をなめられ、村人会をここまで築きあげた偉大な先輩方に深甚なる感謝と敬意を表する」とあいさつを述べられました。同氏は一九三〇年に着亜、

地元日系新聞「らぶらた報知社」に入社、その後は同社の専務を務めるなど、高齢にも拘わらず矍鑠としておられる日、移民者の足跡が綴られた便箋と「アルゼンチン日系人録」の書籍を記念に頂きました。大いに盛り上がった歓迎会も閉会時刻は夜の十二時を過ぎていたと思う大変思い出に残るひと時であった。なお、旅の後半の様子は来月号でお伝えします。

水道集金・検針員代わる

～今泊・兼次・諸志・与那嶺・仲尾次地区～



仲尾次郁子さん

9月1日付けで、これまで村内西地区(今泊、兼次、諸志、与那嶺、仲尾次)の水道集金・検針員としてがんばってこられた金城あや子さんの後任に仲尾次郁子さん(今泊416)が決まりました。金城さん長い間本当にご苦労様でした。また、新しい検針員に村民の皆様のご協力をよろしくお願い致します。



金城洋之さん(崎山出身)

水道課・工務係に九月一日付けで金城洋之さん(崎山出身)が新しく採用されました。どうぞよろしくお願致します。

役場の新しい職員です



▲四連覇に沸く、今帰仁イレブン!

八月十九日、今帰仁村総合運動公園で開催された国頭郡サッカー大会で今帰仁村チームが決勝で恩納村を1対0の僅差で下し大会史上初の四連覇を果たした。村田肇監督は「経験豊富な大学生を中心としたチームワークと落ちついた試合運びが勝因」と選手を称え、「来年は五連覇を目指す」と力強く決意を語った。

史上初! 大会四連覇達成!
国頭郡サッカーで今帰仁イレブン活躍

保健婦 だより

互いに支えあう健康村めざして がんばっています ★保健推進員!

「健康で明るく豊かな日々を送ること」それは誰もが持つ共通の願いです。今回は健康に関心をもち、自らの健康づくりに取り組みながらボランティアとして村民の健康を支える「保健推進員」の皆さんを紹介いたします。



▲ひざや腰に負担の少ない水中運動に励む受講生

取材当日は一期、二期生による「操体法」の講習会も行われ、参加者からは「体調が驚くほどよくなった」「健康

村民みんな支えあう健康な村づくりを進める保健予防課では、三年前から「保健推進員育成事業」を導入し、これまで五十一人の方を保健推進員として登録してきました。
今年もすでに第三期生の二十八人が、およそ月一度の割合で行われる研修会に参加し、講習会や自分のレベルに合わせた健康体操、水中運動などに励んでいます。



▲自然治癒力を高める「操体法」を学ぶ

によいと思ってやっていた運動が本当はとても悪いことだった」など声が上がること、正しい知識を身に付けることが健康にどれほどよい影響を与えるのかを肌で感じた様子。これからも多くの村民が自らの健康に関心をもって、日々楽しく過ごせるよう、保健予防課では、今後も継続して保健推進員を育成していくとのこと。「興味のある方、そして皆さんのお役に立ちたいと思っている方は、ぜひ保健予防課（56-1234）まで声をおかけ下さい」と呼びかけている。

Information

くらしの 知 得 する 情報

平成13年度 婦人検診日程表

検診を受けて健康チェック

対象者、30歳以上

受付時間 午後1時より2時まで

場 所 今帰仁村保健センター

月 日	対 象 地 区
10月2日(火)	今泊 兼次 諸志 与那嶺 仲尾次
10月12日(金)	崎山 平敷 越地 謝名 仲宗根
10月24日(水)	玉城 呉我山 湧川 天底
10月26日(金)	勢理客 渡喜仁 上運天 運天 古宇利
10月31日(水)	未受診者

受診者負担金
子宮がん 300円 乳がん 200円 計500円
ただし、70歳以上、生活保護世帯等は負担なし
問合せ先 保健予防課 電話56-1234

婦人科施設検診のお知らせ

対象者：30歳以上 先着100名程度

受付期間：受診期間 平成13年10月1日～12月25日

受診方法：希望者は、村保健予防課（56-1234）で申し込み「婦人がん施設検診承認書」の交付を受けて、下記の医院で受診する。

※ただし、乳がん検診のみの受診はできません。また婦人科集団検診を受けた方は、施設検診の対象者ではありません。

記

運天産婦人科医院（名護市在） 電話53-0131
平岡産婦人科医院（名護市在） 電話52-3377

受診者負担金	施設検診	金額
	子宮頸・体がん・乳がん	2,200円
	子宮頸・乳がん	1,600円
	子宮頸・体がん	1,700円
	子宮頸	1,200円

ただし、70歳以上・生活保護世帯等の負担金はありません。

＝平成13年度＝ 全国地域安全運動

今年も、全国一斉に「地域安全運動」が展開されます。安全で住み良い街づくりのため、防犯協会や警察、関係団体等が一体となって取り組む、各種の運動の推進に皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

○期間 10月11日(木)～20日(土)【10日間】

○スローガン

- ・みんなで作ろう安心の街
- ・島ぐるみ 安全・安心の街づくり
- ・街ぐるみ 地域で育てる 子どもたち

○主催 本部警察署・本部地区防犯協会

お問い合わせ 本部署生活安全・刑事課 ☎47-4110

『ふれあい少年の翼』参加者募集

～北国の自然、文化にふれてみよう～

1. 募集人員 36名(19名推せん、17名抽選)
2. 応募資格 村内に在住する小学校6年生
3. 応募期間 平成13年10月1日(月)～26日(金)
4. 参加費用 45,000円
(ユニホーム、アルバム代含む)
5. 派遣先 山形県酒田市・東京都
6. 派遣期間 平成14年2月6日～10日(4泊5日)
7. 申し込み 申し込み用紙記入の上、
村教育委員会まで



犬・猫の避妊・去勢手術 助成制度のお知らせ



健康な犬・猫をあわせて200頭を対象に
避妊・去勢手術費用の一部を助成します。
助成金の金額は

犬の雄：5,000円 雌：7,000円
猫の雄：3,000円 雌：5,000円



※手術を受ける動物病院の定める手術料金から一頭につき上記の金額を助成します。なお、手術料金は病院により異なります。

対象

沖縄県に在住の人が飼育している犬、猫で手術実施時に、生後ほぼ6ヶ月以上で健康であること。犬は「狂犬病予防法」に基づく登録済みの犬で、かつ、平成13年度狂犬病予防注射済みの犬であること。

※ただし1世帯について、猫・犬いずれか1頭まで。

募集期間 9月21日～11月30日まで

抽選日 12月10日

手術実施期間 12月15日～平成14年2月28日

お問い合わせ 社団法人 沖縄県獣医師会 ☎098-853-8001
役場・保健予防課 ☎56-1234

共に興さな文化村「なきじん」

第19回

今帰仁村文化祭

2001年11/3(土)・4(日)

村中央公民館・コミセンホール・保健センター

◎作品募集

絵画・写真・書道・陶芸・染色・民芸・盆栽・生け花
手作り料理など

お問い合わせ・村教育委員会 ☎56-2645

行政相談週間

10月15日(月)～21日(日)

医療保険、年金、老人保健、
交通安全、恩給、公害、戸籍、
道路、環境衛生、登記など

◎行政相談員が相談に応じてます。

相談は無料・秘密厳守です。

相談員：新垣侃さん(☎56-3148)

＝無料行政相談＝

とき 10月17日(水)13:30～16:00

ところ 村コミュニティセンター

『全国自然歩道を歩こう大会』沖縄県大会

～ゆっくり歩こう線豊かな今帰仁路～

とき 2001年10月14日(日)9:30～12:30 村運動公園

コース 距離：約12km 所要時間：約2時間30分

運動公園 → ヒージャーガー → 大浜ビーチ → 運天森園地 →

運天港 → 上運天集落内 → 上運天農村公園 → 宿道 → 運動公園

主催：沖縄県・沖縄県ウォーキング協会

後援：今帰仁村



見えてきます 21世紀のくらしと社会

10月20日は社会生活基本調査

調査地域及び調査世帯には、統計調査員がお訪ねしますので、よろしくご協力ください。
総務省統計局・沖縄県・今帰仁村

10月/神無月

1 月	○健康相談 (9:00~12:00 保健センター) ○「ふれあい少年の翼」募集スタート
2 火	○婦人検診 (13:00~14:00 保健センター) 【今泊、兼次、諸志、与那嶺、仲尾次】 ○北部地区畜産共進会 (10:00~ セリ市場)
3 水	○リハビリ ○ゆいまーる事業 (今泊)
4 木	○ピアママ教室 (13:30~ 保健センター) ○ゆいまーる事業 (仲尾次)
5 金	○区長会 (14:00~ 2階会議室)
6 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン) ○村陸上競技大会【前日競技】 (18:00~ 運動公園)
7 日	○村陸上競技大会 (9:00~ 村営グラウンド)
8 月	○体育の日
9 火	○ゆいまーる事業 (与那嶺)
10 水	○リハビリ ○ゆいまーる事業 (呉我山) ○公民館講座【自然】 (19:30~ 中央公民館) ○タイムス図画・作文・書道展示会 (~21日まで 歴史文化センター)
11 木	○1才半・3才児健診 (13:00~ 保健センター)
12 金	○婦人検診 (13:00~14:00 保健センター) 【崎山、平敷、越地、謝名、仲宗根】
13 土	○村立保育所合同運動会 (9:30~13:00 村運動公園) ○小学生ムラ・シマ講座 (9:00~12:30 歴史文化センター) ○公民館講座【農業】 (15:00~16:30 中央公民館)
14 日	○全国自然歩道を歩こう大会 (9:30~ 村運動公園) ○乙羽朝市 (7:30~ 中央公民館)
15 月	○健康相談 (9:00~12:00 保健センター)
16 火	○D・P・T (12:30~13:00受付 保健センター) ○セリ市 (10:30~ セリ市場) ○ゆいまーる事業 (諸志)
17 水	○ゆいまーる事業 (古宇利) ○リハビリ
18 木	○平和祈願祭 (14:00~ 慰霊塔前) ○公民館講座【歴史】 (20:00~21:30 中央公民館) ○区長会 (13:00~ 2階会議室)
19 金	○今帰仁ナークニー大会 (15:00~17:30 コミセン) ○ゆいまーる事業 (今泊) ○やんばるの産業まつり (21日まで 名護市市民会館)
20 土	○公民館講座【読み聞かせ】 (15:00~16:30 中央公民館) ○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)

21 日	○村老人婦人スポーツ大会 (9:00~ 村営グラウンド)
22 月	○健康相談 (9:00~12:00 保健センター)
23 火	○D・T (小6)【16:30~17:00受付 保健センター】
24 水	○リハビリ ○婦人検診 (13:00~14:00 保健センター) 【玉城、呉我山、湧川、天底】
25 木	○農業委員会総会 ○デイケア
26 金	○婦人検診【勢理客、渡喜仁、上運天、運天、古宇利】 ○公民館講座【ポランティア】 (20:00~21:30 中央公民館) ○沖縄の産業まつり (28日まで 那覇市奥武山)
27 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
28 日	○日本歌人クラブ全九州・国際交流沖縄短歌大会 (~29日まで) ○国頭郡陸上大会 (名護市菅陸上競技場) ○漁協朝市 (9:00~ 運天漁港)
29 月	○健康相談 (9:00~12:00 保健センター) ○ゆいまーる事業 (渡喜仁)
30 火	
31 水	○リハビリ ○婦人検診 (13:00~14:00 保健センター) 【未受診者】

11月/霜月

1 木	○世界のウチナーンチュ大会 (~3日まで) ○ゆいまーる事業 (仲尾次)
2 金	
3 土	○村文化祭 (14:00~17:00 中央公民館ほか) ○世界のウチナーンチュ大会今帰仁村歓迎会 (18:30~ 商工会館) ○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
4 日	○村文化祭 (9:00~17:00 中央公民館ほか)
5 月	○区長会 (14:00~ 2階会議室) ○健康相談 (9:00~12:00 保健センター)
6 火	○ゆいまーる事業 (与那嶺) ○ポリオ (12:30~13:00 受付、保健センター)
7 水	○リハビリ ○村親善チャリティゴルフ大会 (嵐山ゴルフ倶楽部)
8 木	

第3回世界のウチナーンチュ大会



成功させよう

11/10 THU

-4- SUN

未来ちゅら夢心にのせて

未来ちゅら夢心にのせて

今帰仁村出身者歓迎の夕べ

とき 2001年11月3日 (土) 18:30~
ところ 村商工会館2階ホール
主催 今帰仁村

今帰仁ナークニー大会

ナチジレ チュナギ ナレマチ チュラ
今帰仁ぬ 沿道一筋 並松ぬ美しら
ハナジュミヌバシヤー ミヤビチュ
花染芭蕉と 女童美らさ

とき 2001年10月19日 (金) 午後3時~午後5時30分
ところ 今帰仁村コミュニティセンター
入場料 無料 (ただし、資料代として300円)
主催 今帰仁村教育委員会 歴史文化センター



日本歌人クラブ全九州国際交流

沖縄短歌大会

とき 10月28日 午前10時 ところ 今帰仁村コミュニティセンター
学術講演会「斎藤茂吉の世界・文学博士/藤岡武雄」短歌大会行事・交流祭ほか
主催 日本歌人クラブ 後援 今帰仁村・沖縄県文化協会ほか